

心身健全!

Radio camnet「心身健全!」担当の川崎医科大学衛生学 大槻剛巳です。「心身健全」は今年2012年からリニューアル! 毎月3~4曲の旧曲(大槻が高校~大学の頃に作った楽曲)を新たに録音しなおして(新録)お届けするMUSICと、日々の雑感や参加した学会その他の話題のBASIC、そして医学医療系の話題を中心にするMEDICALです。お時間がありましたら聴いてやってください。また、応援メッセージも本当にありがとうございます。BBSでレスしていますので覗いてください。

去る1月27~28日に倉敷市民会館二階大会議室で第11回分子予防環境医学研究会を主催しました。詳細は2月号の心身健全BASIC & MEDICALでも話しましたが、まず、医学系の学会・研究会というのは全体の理事長という役割の方がおられ、通常、年に1回の学術大会を開催して所謂学会発表をする会を設けます。それと機関誌を発刊するのが二大事業となっていることが多いです。臨床系の生活習慣病(糖尿病や高血圧、消化器疾患など)に関連するような学会では、医師・研究者のみならず看護師さんなどのパラメディカルの方々も参集され、数千人から1万人近い参加者がいる場合や、基礎医学でも生化学などの会は非常に大きいです。大槻が関連しています予防医学・健康科学・公衆衛生学といった分野でも、日本公衆衛生学会や日本産業衛生学会などは相当大きな学会になりますが、そういったものは別にもう少しピンポイントに研究対象を絞ってコアメンバーに近い会員が集まり、小規模ながら深く密度の濃い発表と討論を行うようなものもあり、今回主催した分子予防環境医学研究会というのは、我々の領域の中で先端的な分子生物学などを用いた研究室が毎年1回一堂に会して研究成果を公表しながら質疑応答を繰り返すということを中心に、別事業として医学生や研究者向けのレベルの高い教科書・参考書となる「分子予防環境医学」という書籍を編集発刊しています。大槻及び所属しています川崎医科大学衛生学では毎年参加発表をしておりますが今回、その年1回の研究会の会長を仰せつかって実施しました。

2012年の冬は大雪で寒波も幾度と無く列島を襲って来ましたが、この週も列島が冷え込んだ週で実は想定していたよりも若干参加者が少なかったのですが、環境中物質(いわゆる環境ホルモンやダイオキシン、有機溶剤、アスベストやナノチューブなど)による生体影響についての研究(ちなみにアスベストの免疫影響については我々が中心的に行なっている研究課題です)、生活習慣病や所謂難病と云われる疾患の責任遺伝子の探究や遺伝子多型と病態との関連、食品成分による発癌予防等々の先端的な発表演題も多く、また特別講演では岡山大学泌尿器科 公文教授による遺伝子治療の話題、シンポジウムでは京都大学高田教授をオーガナイザーにDNA損傷とその応答機序を題材に組んで頂き、貴重なご発表を頂戴しました。

我々は、こういった学会・研究会に参加して発表を聴いて討論をする中で、そこで得た知識を今後の自分たちの研究に応用して行ったり、気持ちの面でも「ああその研究室は質の高い研究を旺盛に展開されているなあ」と感心すると共に、それに触発されて「僕達も頑張らない」と新たな研究に対する動機付けをもらったりなどということもあり、また多くの研究者の先生たちと親しくなることで今後の共同研究へと発展したりすることもあります。勿論、自分たちの研究成果を公表して種々のご批判を受けたり、別の視点をご教示いただくことも重要な要素で、それによって新たな展開へと研究が広がっていくこともあります。

さて、懇親会は通常は立食パーティーで実施することが多いのですが、今回は種々の都合で倉敷美観地区近くの居酒屋「つね家」さんで行いました。これがやっぱり腰を落ち着けて食べて飲んで話も弾むし、酔うほどに皆さん陽気に活発になって予定を約1時間ほど延長するくらいに盛り上がる会になりました。通常、立食などの懇親会では何かのエンタテインメントを準備することもあって、大槻は立食の会場などではピアノの弾き語りをするところもあるのですが、今回は居酒屋さんってことで何も準備していなかったら、参加の先生から「落語」をしろ(一部の先生は2010年度にRSKラジオのAM放送をCamnet メンバーで行っていた際に、勢いでやってしまった創作オリジナル落語のYouTube配信版をご存知だったので)って話になって、以前RSKラジオで「radio Camnet丸の内」の相談所コーナーで演った「夏の胡瓜」という短い斬を急遽、演じることになりました(まあ皆さん酔ってらしたし、最後のオチでは笑ってもらえたのでよかったです)。勿論、会場は美観地区や大原美術館にも近く、都市で行う学会より記憶に残る研究会になったかな? って思っています。

さて、今月の歌詞紹介は一昨年の春に「心身健全」でかけた「花曇り」です。2年前の日本衛生学会の懇親会で歌っている映像がYouTubeにもありますからご覧下さい。作詞・作曲/大槻剛巳です。

「花曇り」

桜は 満開の 浮かれ囃子で
陽気な 街角に ざわめく靴音
あなたは ほほえみを
思い出したようだね
春は桜の 春は涙の 花曇り 花曇り

光に 彷徨えば 少し浮かれて
桜の 街並を 覗いてみるけど
言葉は 淋しさを
告げるだけのようだね

春は桜の 春は涙の 花曇り 花曇り

あなたに 一言も
云い出せないようだよ
春は桜の 春は涙の 花曇り 花曇り

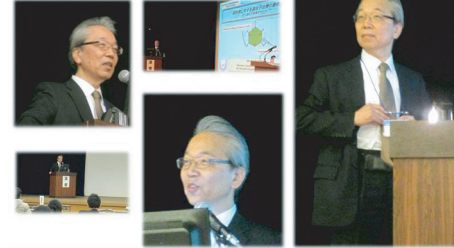
1974/06/27



第11回 分子予防環境医学研究会
2012年1月27~28日
於: 倉敷市民会館二階大会議室



特別講演: 岡山大学 公文教授



シンポジウム: 京都大学 高田教授
茨木大学 田内教授, 国立がんセンター 河野 研究分野長



会場の様子



大槻は
なぜか
落語を
するはめに…



お後がよろしいようで。。。。

♪オリジナルCDプレゼントします！
詳しくはプレゼントコーナーで

♪聴いて！

東北関東大震災オリジナル復興支援ソング

<http://www.youtube.com/watch?v=YFd0vHdwhyrc>

<http://www.youtube.com/watch?v=CW7syPcricu>



【プロフィール／大槻 剛巳(おおつき たけみ)】

川崎医科大学衛生学教授

0歳：京都府福知山市にて生誕

14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位

14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用

15歳：倉敷市に転居

15&18歳：NHKあなたのメロディー出演

18歳：YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場

20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり

24歳：川崎医科大学卒業

以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事

1992-1996年：米国留学(医学研究)

1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載

2009年：Gannet CH-F(10-19)パーソナリティ担当

現在に至る